

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			活動によってエリアを設定し、十分なスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準に対して2倍以上の配置数をしている。
	③	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮がなされているか			○	バリアフリー化はされていない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティング、月1回の支援会議の中で目標の見直し、確認をしている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様に事業所評価アンケートを配布し保護者様の意向を把握しながら、業務や支援内容の改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	○			自己評価表はホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			月1回の頻度で札幌市自閉症発達障がい支援センターおがるの機関支援コンサルを訪問、実施し評価いただき、支援、業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間の研修プログラムを立案し、参加したりオンラインでいつでも研修を受けられる環境が整っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			インフォーマルアセスメントを行い強み、芽生えを大切に計画策定している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがるの指導を受け、その都度一人ひとりに合わせたアセスメントを実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々のミーティング、支援会議を行い、活動内容の立案、評価を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			一人一人に合わせたプログラムを立案、変更している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定しているか	○			休日、長期休暇にはプログラムを見直し、長い時間だからこそ出来る課題や調理活動等を設定し支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントに基づいた特性に応じた個別活動と集団活動を組み合わせ計画策定している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティングを実施し、その日の支援内容や役割について確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を等を共有しているか	○			支援終了後には、支援の振り返りを行い、情報共有が出来る時間を設けている。
	⑰	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の支援内容を記録し、支援内容の改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、発達に合わせた計画の策定を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインに基づいた活動プログラムを設定している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には事業所の管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時に口頭や書面での確認、必要時の電話連絡を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要なお子さまの受け入れ実績なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			オンライン会議や電話連絡等で、情報の共有、引継ぎを行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしているか	○			ご本人・保護者の了解を得て、書類や会議を開催して引継ぎを行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			月1回札幌市自閉症発達障がい支援センターおがらの機関支援コンサルを訪問で行っていただき助言を頂いている。
		放課後児童クラブや児童館との交流				

175	②6	や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現状実績なし
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			札幌市自立支援協議会西区地域部会や勉強会に定期的に参加している。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時に保護者様への情報提供を行い、共通理解に努めている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			○	現状実績なし
保護者への説明責任等	③0	運営規定、支援の内容利用者負担について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、計画の更新時、変更があった際にご理解いただけるように説明を行っている。
	③1	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っているか	○			保護者様よりお子さまのことでの悩みごと等の相談を受けた際は、助言等をお伝えできるよう努めている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援をしているか			○	現状実績なし
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際には、速やかに管理者会議にて苦情に対する改善点、対応を話し合っている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	○			書面にて行っている。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は細心の注意を払って取り扱っている
	③6	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性に応じたコミュニケーションツールを使用する等の配慮を行っている。
		事業所の行事に地域住民を招待する等				

	③⑦	宇木川の行事に地域住民を招待する 地域に開かれた事業運営を図っているか			○	際には地域住民の方へ挨拶と案内を出しているが今年度は中止している。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員と保護者様へも周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に実施、記録している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			半年に1回、全職員に対し虐待防止についての勉強会を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束適正化に基づき、個別支援計画策定時に保護者様にご説明、了解を得て記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時にアレルギーの有無を確認し、適切に対処している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			発生後の職員会議、毎月の管理者会議にて共有し、再発防止に努めている。